

導入の流れ

STEP
01

お問い合わせ・お打ち合わせ

お電話またはお問い合わせフォームよりお気軽にお問い合わせください。
担当者より製品のご紹介とスケジュール・施工内容の確認を行います。



STEP
02

配信ネットワークの決定

緊急地震速報専用のNTTフレッツ光回線での配信を推奨しております。
お客様の通信環境に合わせた配信形式のご提案も可能です。



STEP
03

現地調査

現地に伺い、機器設置・配線経路・NTT引込み・連動放送設備等の確認を行います。
問題なければ、お見積りをご提出いたします。



STEP
04

ご契約手続き・詳細設定の確認

保守契約書・申込書にサインをいただきます。
ご契約後、動作しきい値・音声内容・長周期地震動のご利用の有無等、詳細設定の確認を行います。



STEP
05

工事

現地で機器の設置・放送設備連動工事等を行います。
設置工事完了後、発報・動作試験やご説明を行いお引渡しとなります。



STEP
06

保守

24時間365日の受信端末の稼働監視サービスを実施。
また、機器の故障が疑われる場合には、オンサイトによる交換修理を行います。



お問い合わせ

製品についてやお見積りなど、お気軽にお問い合わせください。



南海電設株式会社 防災営業課
営業時間／9:00～17:00（土日祝定休）

東京 03-6757-1050

大阪 06-4967-6181



info@propbiz.jp



プロップbiz

検索

URL: <https://propbiz.jp/>



緊急地震速報
来る前に知る
弊社は緊急地震速報
利用者協議会の会員です。

HPIはこちら



ProP bizを運営する南海電設株式会社は日東工業グループの通信・電気設備工事の会社です。



緊急地震速報配信サービス

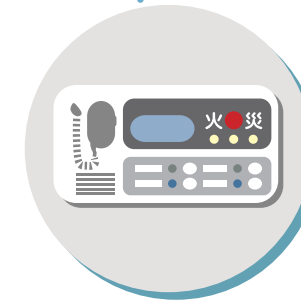
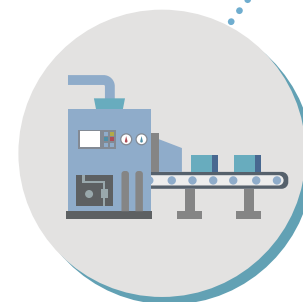
ProP biz

ハイブリッド法・長周期地震動にも対応

確実に迅速に知らせる 緊急地震速報配信サービス



推定震度、
到達予想時間が
すぐ分かる！



"予報"でワンランク上の災害対策を

緊急地震速報とは地震の発生直後に、震源に近い地震計で観測したデータから震源や地震の規模を推定し、各地での主要動の到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせるサービスです。

強い揺れの前に自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、工場等での機械制御などに活用されています。

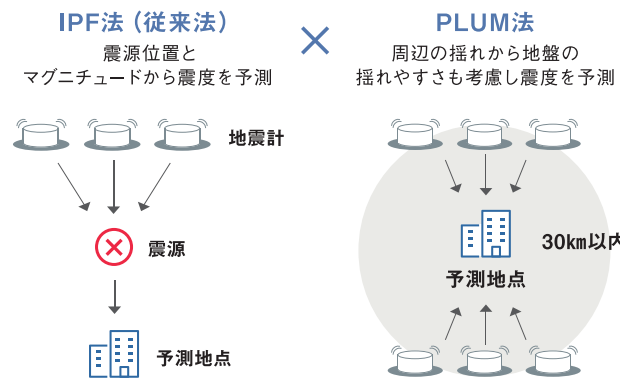
緊急地震速報には、大きく『警報』と『予報』の2種類がありますが、ProP bizでは『予報』を採用し、外部機器と組み合わせることで、用途に合わせた様々なカスタマイズができるようになっています。

	配信方法	迅速性	確実性	正確性
警報	TV・FMラジオ・携帯など	×	×	×
予報	専用端末での配信	○	○	○

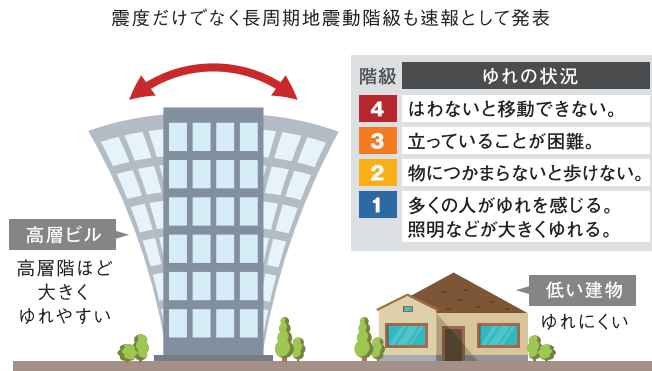
ProP biz の3つの特徴

01 | あらゆる基準・仕組みに対応

ハイブリッド法



長周期地震動



02 | もしもの時も安心な保守体制

24時間365日の稼働監視を実施し、エラー発生時はご登録したお客様へ直接アラートメールをお送りいたします。

(平日9:00~17:00は有人監視を実施)

もし受信端末に不具合があった場合はオンサイトによる交換修理を実施します。

(平日9:00~17:00対応、年末年始・特定休業日は除きます。)



03 | 2か所のデータセンターで安定稼働

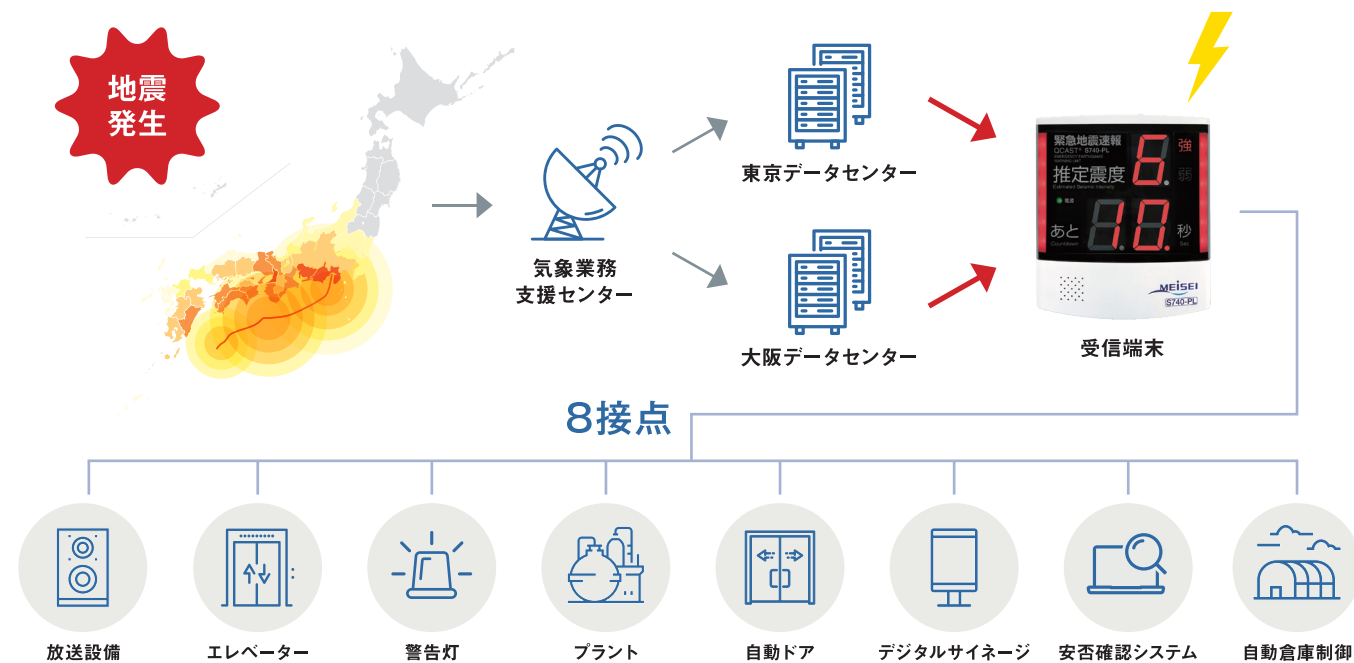
気象庁情報は、東京管区気象台・大阪管区気象台の2系統より受信し、当社が設置する東京と大阪にある2か所のデータセンターから各ユーザーの受信端末へ冗長化配信を行っています。

一方のデータセンターが切断された場合も、確実かつ正確に緊急地震速報を受け取ることができます。



配信システム系統図

受信端末には外部機器と接続し、その外部機器を制御できる接点が8つあります。その接点を利用し、放送設備やエレベーター、プラントそのものを制御することが可能です。



製品のご紹介

受信ユニット S740-PL

(明星電気株式会社製)

発生した電文と本体が演算した結果のログの蓄積が可能

訓練ボタンを搭載、いつでも訓練が可能

音声・ライン出力ともボリューム調整可能



大型赤色LED・ストロボレッドバー搭載

内蔵バッテリー：10分間稼働(※オプション)

受信装置 S704-FCPL

(明星電気株式会社製)

最大200地点まで登録可能

再配信は最大64端末まで可能

震源地情報を表示

地図画面表示・警報音出力



「受信ユニットS740-PL」は自局位置での推定震度と猶予時間、さらに長周期地震動階級予測を表示することができます。情報発信時には、内蔵スピーカーの音声と左右の赤いバー部分の点滅で伝達します。

接点出力を用いて各種装置・設備を停止したり、アナログ音声出力を利用して、構内放送などで人々に注意を促すことも可能です。

「受信装置S704-FCPL」は「受信ユニットS740-PL」の機能に加え、ディスプレイの地図上に震源・P波とS波の伝達状況をグラフィカルに表示させることが可能です。

そのため、他の事業所など複数箇所の推定震度表示やシミュレーション機能で、他地点での推定震度・猶予時間の予測や、普段からの防災対策などに役立ちます。また、再配信数が64端末に強化され、緊急地震速報の共有化を低コストで実現できます。